

15 宮城県教育復興懇話会

(1) 宮城県教育復興懇話会について

東日本大震災からの速やかな復興に向けた、今後の本県の教育施策のあり方について意見等を聴取するため、学識経験者等による宮城県教育復興懇話会を開催した。

(2) 提言の目的

宮城県教育復興懇話会での議論を取りまとめ、宮城県震災復興計画に基づく教育施策をはじめとする今後の取組に反映させる。

(3) 宮城県教育復興懇話会の委員（敬称略 五十音順）

氏名	所属等	備考
かじた えいいち 梶田 叡一	環太平洋大学学長，学校法人聖ウルスラ学院理事長 (前中央教育審議会副会長，前兵庫教育大学学長)	座長
さわ あきひろ 澤 昭裕	21世紀政策研究所研究主幹	
すのう くにお 須能 邦雄	石巻魚市場株式会社代表取締役社長	
たけだ まさはる 武田 政春	白石市教育委員会教育長 (前宮城県市町村教育委員会協議会教育長部会長)	
やまだ はるよし 山田 晴義	特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム理事	副座長

(4) 宮城県教育復興懇話会開催等の経緯

- 平成23年5月25日 宮城県の教育の復興について（自由討議）
- 平成23年6月30日 宮城県の教育の復興に向けた取組等について（論点整理）
- 平成23年7月29日 宮城県の教育の復興に向けた取組等について（意見集約）
- 平成23年8月25日 宮城県の教育の復興に向けた提言について（意見集約）
- 平成23年9月8日 懇話会から[提言書](#)の受理

(5) 提言の内容

イ 教育の復興に向けた取組について

1 幼児・児童・生徒の心のケア	(1) 教職員によるケアの質の向上 (2) 学校への専門家の配置 (3) 家庭における理解促進 (4) 交流によるケアの促進
-----------------	---

2 単なる復旧にとどまらない 長期的な視野に立った魅力 ある学校づくり	(1) 単なる復旧にとどまらない学校の多機能化 (2) 学校の適正配置と魅力ある学校づくりの推進 (3) 学校の特性を活かした魅力ある学校づくり
3 学校の防災機能・防災拠点 機能の強化	(1) 学校の避難所機能の強化 (2) 防災教育の推進 (3) 学校機能の早期の回復に向けた取組 (4) 交流の場としての学校づくりの推進
4 未来を生き抜く力の育成	(1) 「志教育」の推進 (2) 志の土台となる基礎的学力の育成 (3) 子どものチャレンジ精神を引き出す施策の推進 (4) 地域行事等への参加を通じた社会との関わりの推進
5 沿岸地域への重点的な支援	(1) 家庭学習への支援 (2) 就学に係る経済的支援 (3) 就職に対する支援 (4) 他地域に移転した児童生徒のケア (5) 心身に大きなダメージを受けた教職員への支援 (6) 教職員定数の加配 (7) 被災地における教職員の復興支援活動の促進

ロ 取組の推進に当たって

- (イ) 地域コミュニティの再生への積極的な関与
- (ロ) 多様な主体との連携・交流
- (ハ) 市町村教育委員会と一体となった取組の推進
- (ニ) 県の組織間における横断的な連携の推進
- (ホ) 私立学校への支援
- (ヘ) 特別な配慮を必要とする子どもたちに対する支援
- (ト) ボランティア，NPO法人，企業との役割分担
- (チ) その他の留意点

(6) 提言に基づく今後の対応

宮城県震災復興計画に基づく教育の再生・復興に向けた取組を推進するに当たり、提言の内容を十分に踏まえ、教育庁全体としてのみならず県庁内他部局との横断的な連携の下、実効性ある事業実施に取り組んでいく。また、市町村教育委員会・学校現場等に対しても、今回の提言の内容を幅広く周知し、それぞれの立場で必要な取組を促していく。

宮城の将来ビジョン・宮城県教育振興基本計画・宮城県震災復興計画の関係図

